

第29回 岐阜大学 サマースクール (受入) - 2016年度 - The 29th Gifu University Summer School Program (2016)

本プログラムは1988年度に開始され、29年間で464人が学びました。



2016年度サマースクール参加学生 能楽(能・狂言)ワークショップにて

2016年度サマースクール概要 (2016 Summer School Outline)

期間 (Period) 2016年6月29日～7月27日 (29 June - 27 July, 2016)

参加学生人数 (Number of Participants)

8名: 木浦大学3名、ノーザンケンタッキー大学3名、カセサート大学2名
(8 Students : 3 from Mokpo National Univ., Korea, 3 from Northern Kentucky Univ., USA, 2 from Kasetsart Univ., Thailand)

プログラム内容 (Program Contents)

日本語授業 (Japanese Language Classes) : 月曜～木曜午前
(Monday to Thursday, AM)

日本文化体験 (Japanese Culture Experiences) :
エクスカーション (土岐)、能楽 (能・狂言) ワークショップ、相撲観戦等
(Excursions (Toki), Nohgaku (Noh & Kyogen) Workshop, Sumo etc.)

2016年度サマースクール レポート

2016 Summer School Report

29. Jun. サマースクール開講式・ガイダンス・歓迎茶話会

Wed. 2016 Summer School Opening Ceremony, Guidance and Welcome Tea Party

岐阜大学サマースクールの開講式及びガイダンスを行いました。今年度は韓国の木浦大学から3名、アメリカのノーザンケンタッキー大学から3名、タイのカセサート大学から2名、合計8名の学生が参加しました。キャンパスツアーや歓迎茶話会も開かれました。茶話会には日本人学生チューターの皆さんや、本学に在学中の交換留学生、3校に留学予定の日本人学生も参加し、親睦を深めました。



30. Jun. 日本語授業開始

Thu. 2016 Japanese Language Classes

6月30日から7月26日まで、全12回の日本語授業を受けました。日本での生活に必要な表現や語彙等を学び、作文やスピーチの練習もしました。



Schedule 教科書:「日本語で話す6週間」 授業時間:8:45~12:00

6月30日(木):教科書	7月4日(月):教科書	7月5日(火):教科書
7月6日(水):作文練習	7月7日(木):教科書	7月12日(火):教科書
7月14日(木):教科書	7月19日(火):教科書	7月20日(水):作文練習
7月21日(木):教科書	7月25日(月):まとめ作文	7月26日(火):まとめ作文とスピーチ

04. Jul. 土岐エクスカージョン

Mon. 2016 Excursion to Toki City (Pottery Making)

土岐市のどんぶり会館にてロクロや絵付けなど、陶芸を体験しました。



Schedule

14:00	どんぶり会館着
14:15~16:45	ロクロ・絵付け体験
17:30	どんぶり会館発

引率者 中川一雄教授(地域科学部)コメント

土岐での陶芸体験の日は大変暑い日であったが、土と戯れる留学生たちの心と指先も大層熱いように見えた。陶磁器は文明の成熟を端的に示すアイコンである。近くにいた木浦大学の学生さんたちとは、日本の文化(陶磁器や建築)の形成に中国や朝鮮半島の諸国がどれほど大きな力を与えてくれたか、文明の歴史的関係の深さなどおしゃべりしながら、引率者も泥や絵の具と格闘した午後であった。

08-11. Jul. 郡上プログラム

Fri.-Mon. 2016 Gujo Program

郡上八幡国際友好協会と郡上市役所のご協力のもと、郡上での文化交流、そしてホームステイを体験しました。

08. Jul.



茶道講座



八幡小学校訪問

浴衣着付け体験



郡上踊り体験

書道講座



ホストファミリー対面式



地元タウン誌の取材を受けました

手ぬぐい作成体験



剣道体験



09. Jul.

Schedule

7月8日(金)	郡上到着
10:30	オリエンテーション・茶道講座
12:10~13:00	八幡小学校にて給食
13:00~14:00	八幡小学校にて児童との交流会
14:00~15:00	旧庁舎記念館へ移動 休憩
15:00~16:15	旧庁舎記念館にて書道講座
16:30~17:15	浴衣着付けおよび郡上踊り体験
17:15~18:30	自由時間
19:00~20:30	ホストファミリー対面式・歓迎交流会
20:30	各自ホストファミリー宅へ
7月9日(土)	手ぬぐい作成体験
10:00~10:40	剣道体験 郡上高校剣道部と交流
11:00~12:30	昼食
12:45~13:30	自由時間
13:30	ホストファミリーと自由行動
7月10日(日)	ホストファミリーと自由行動
終日	ホストファミリーと自由行動
7月11日(月)	まとめの会・記念写真撮影
9:30~10:30	まとめの会・記念写真撮影

ホストファミリーの皆様の感想文

Messages from Gujo Host Families

今年2回目の受け入れで、家族全員ドキドキよりもワクワク楽しみにしていました。

3泊4日と限られた時間で、いろんなことがやりたくて忙しい週末となりました。緊張したでしょうが親戚20名ほど集まっての引越祝いの大宴会に行ったり、花火をしたり虫を見たり高山や白川郷にも行きました。いつも一生懸命話を聞いてくれて、熱心にいろいろな物を見て日本を知ろうとする姿勢は素晴らしいです。なんでも食べてくれて初めての食べ物や日本酒なども挑戦してくれて、嬉しかったです。私たちが彼女と一緒にいろんな所に行くことが新鮮で、いつもは気に止めないことも改めて見直すことができました。

温泉に抵抗があるかなと思いましたが、とても気に入ってくれ喜んでくれたので2日間も行ってきました。湯船でゆったりしながらお話しできて、よりいっそうコミュニケーションが図れて温泉はとても良かったです。

今回のホームステイ中印象的だったのは、息子が毎日嬉しくていい笑顔で過ごしていたことです。いっぱい遊んでもらったり、英語の絵本を読んでもらったりと、すぐに打ち解けておねえちゃん、おねえちゃんと慕っていました。息子は本当のおねえちゃんができたかのように、今でもいっぱいお話の中にでています。そしてなかなか本物の英語に触れる機会がないので、息子にとっても貴重な体験ができたしもっと英語を頑張ろうとする気がでたようでした。

こんなに遠く言葉も文化も違う国から来てくれた彼女が、私たち家族の一員になってくれたようで本当に嬉しく思います。短い時間でもこんなに深く、家族のように思える関係が築けたことが嬉しくて感動的でした。またいつか会えると信じて、その日を楽しみにしています。(M.S.様)



娘の以前からの希望で、今年は念願が叶い、初めてのホストができました。いろいろと心配はありましたが、普段の日本の生活を体験してもらおうと思ってお迎えしました。

3泊4日の日程では時間が足りないと思うくらい、一緒に過ごしたいという気持ちでした。留学生の方が2人の娘と同世代で話題も合い、3人の娘がいるような感覚で過ごすことができました。生活習慣や言葉、食事などに関する違いなどやはり戸惑ったり、反省しなければいけない点がありますが、毎日新鮮な気持ちで時間が過ぎ、本当によい思い出となりました。

日本語を心配していたエミリーが最後に、「お母さんの料理がおいしくてうれしかったです。」と一生懸命伝えてくれたのが本当にうれしかったです。機会があれば、また、ホストファミリーをやりたいです。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。(S.M.様)



今年で7年目のホームステイをさせて頂いた岐阜大学サマースクールは、ルンド大学の学生たちが参加されず、人数も8名という少なさで寂しかったです。が・・・アットホームな雰囲気もありそれはそれで良かったのではとも思いました。

熊本地震の影響の他に、受け入れサイドである岐阜大学、留学生センターのスタッフの方々、そして郡上八幡国際交流会のスタッフの方々の諸事情に関してのご尽力を私なりに皆様の心労をお察し、実現させて頂いたことに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

我が家は岐阜大学サマースクールの行事で夏が始まると言っていくくらい過言ではありません。微力ながら、支えさせて頂きたいと思いますので、今後もサマースクールを楽しみにしています。今後も宜しくお願致します。(K.K.様)



今年は韓国の留学生さんを受け入れさせていただきました。

我が家は私と夫、義父、義母、長男、長女の6人暮らしです。対面式では留学生さんもどきどきしていたかもしれませぬ。

翌日は、高校2年生の娘と女子トークしながら郡上の町並み歩き。日本語の会話がとても自然でした。小雨の中、仲良く傘を並べてやかなかの小径など散策を楽しんでいたのが印象的でした。

また、郡上踊り発祥祭や白川郷散策、パーベキューなど、思いつままの提案によくおつきあいいただきました。思えばもっと留学生さんの「やりたいこと」をじっくり聞いてあげればよかったかなと反省するところです。

ホームステイを通して、韓国のこと、木浦市についてももっと知りたいなあと思いました。貴重な機会をいただき、家族一同感謝申し上げます。(H.K.様)



私自身、ホームステイに憧れがありましたが、これまでそんな機会に恵まれずにいました。郡上で短期のホームステイを受け入れていることを知り、勇気を出して受け入れにチャレンジしました。どんな学生さんが来るのか、どんな話をしようか、どんなことをして過ごすか.....ホームステイが始まる前から、家族で話し合っていました。

八幡の街中を散策して郡上踊りに行ったり、白川郷に行ったり、母国の言葉を教えてもらいました。学生時代に英語を習ったことがある程度の私たちにとって、日本語でも英語でもない言葉を習う機会はないかなかなのでとてもいい経験になったし、それまで口数の少なかった学生さんが生き生きとしていて、全くできない私たちにあきれ顔。みんなでたくさん笑いました。この時間を経て、母国語ではない言葉を用いて過ごすことの大変さを知ったし、まさにこれが文化の交流なのだと実感しました。こうした経験は、ホストファミリーをやってみなければ知ることがなかったと思います。また、郡上のよさ、家族のよさを再認識するよい機会となりました。

これからも、この郡上プログラムが続いて、多くの留学生に郡上の良さを知ってほしいし、私たちも、いろいろな国のいろいろな学生さんと交流していきたいと思っています。すばらしい機会を与えてくださり、ありがとうございました。(T.N.様、T.A.様)



13. Jul. 能楽(能・狂言)ワークショップ

Wed. 2016

Nohgaku (Noh & Kyogen) Workshop

能と狂言のワークショップが開催され、サマースクール参加学生も参加しました。能は観世流シテ方味方團先生・田茂井廣道先生、狂言は大藏流狂言方 山口耕道先生・茂山良暢先生による講義と実演があり、参加者が「見て、聞いて、体験する」充実したものとなりました。ワークショップの前に、能楽についての講義も受けました。



20. Jul. 相撲観戦

Wed. 2016

Sumo Watching

大学で相撲についての講義を受け、大相撲名古屋場所を観戦しました。



引率者 吉松三博教授(教育学部)コメント

サマースクール参加学生7名と留学生センター日本語・日本文化研修留学生6名の計13名と大相撲名古屋場所の観戦に行ってきました。2時間バスに乗って名古屋城体育館に到着、受付でその日の取り組み票をいただいて観戦となりました。応援の多い力士や各取り組みについて各々で話をしているようでした。ちょうど大関稀勢の里の綱とりがかかっていた場所でもあり、会場は大いに盛り上がっていました。岐阜へ到着後、留学生たちは、たこ焼きパーティーを開くと言っていました。楽しんでいただけたら幸いです。

27. Jul. まとめの会・修了式・歓送会

Wed. 2016

Meeting, Closing Ceremony, Farewell Party

サマースクールの終了を迎え、郡上でお世話になった方々、岐阜大学の教職員、日本人学生チューター等も交えた歓送会が開かれました。サマースクール参加学生に修了証書が授与され、一人ずつ日本語でサマースクールの感想を発表してもらいました。



アンケート結果

Result of Questionnaire

*実施状況

アンケート実施人数:8名(全員提出)／実施時期:7月27日とりまとめの会内で実施

(内訳)
性別/年齢

男性	2名
女性	6名
平均年齢	22歳

専攻

日本語・日本文化	2名(木浦大学)
日本語	2名(カセサート大学)
経営	1名(木浦大学)
英文学	1名(ノーザンケンタッキー大学)
コミュニケーション	1名(ノーザンケンタッキー大学)
演劇	1名(ノーザンケンタッキー大学)



1. サマースクールプログラムの満足度について

1.1. 全体的な評価

5段階評価: **4.875** (とてもよかった)

※とてもよかった(5)-よかった(4)-ふつう(3)-悪かった(2)-とても悪かった(1)

1.2. 日本語の授業について

Q1. 授業のレベル	5段階評価: 2.375 (≒少し簡単だった)
Q2. 授業時間数	5段階評価: 2.5 (≒若干少なかった)
Q3. 教え方	5段階評価: 4.625 (≒とてもよかった)
Q4. 教材	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q5. 宿題の有無	5段階評価: 2.75 (≒どちらでもいい)
Q6. テストの有無	5段階評価: 2.75 (≒どちらでもいい)
Q7. 「読む」「書く」「話す」「聞く」の上達順	読む 3.625 ≒ 4
	書く 3.25 ≒ 3
	話す 1.25 ≒ 1
	聞く 1.875 ≒ 2

1.3. 日本文化の授業やワークショップについて

Q1. 能楽の授業(7/13午前)	5段階評価: 4.25 (≒よかった)
Q2. 能楽ワークショップ(7/13午後)	5段階評価: 4.125 (≒よかった)
Q3. 相撲の授業(7/20)	5段階評価: 4.375 (≒よかった)

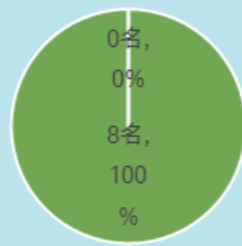
1.4. 見学旅行について

Q1. 土岐; 陶芸体験	5段階評価: 4.75 (≒とてもよかった)
Q2. 相撲観戦	5段階評価: 4.25 (≒よかった)

1.5. 郡上プログラムについて

Q1. 茶道	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q2. 小学校訪問(給食体験と交流活動)	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q3. 書道	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q4. 浴衣の着付け	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q5. 郡上おどり	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)
Q6. 手ぬぐい作成	5段階評価: 4.25 (≒よかった)
Q7. 剣道体験	5段階評価: 4.5 (≒とてもよかった)

Q4. 日本文化の授業やワークショップによって、日本文化についての知識が深まったか



■ YES ■ NO

2016 サマースクールチューター

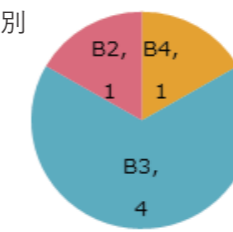
Summer School Tutors 2016

サマースクールチューター内訳

①性別

男性	2名
女性	4名

②学年別



③学部別

学部	学生数
教育学部	1名
地域科学部	1名
工学部	2名
応用生物科学部	2名

サマースクールチューターとして参加してよかったですか

非常に良かった:5名

※「非常に良かった-良かった-可もなく不可もなく-良くなかった-もう二度とやりたくない」の5段階から選択

自分自身にとってのサマースクールでの経験について(よかった点、反省点等)

私はサマースクールチューターとして今回初めて参加させていただきました。私自身、外国語や外国の文化等に興味はあったものの、海外の学生と直接交流する機会は今回が初めてであったため、業務初日のサマスク生(サマースクール参加学生)との初対面の時は緊張したことを覚えています。しかし、サマスク生も同様に緊張していることが表情から分かり、私はごちない英語、サマスク生は片言の日本語でゆっくりと自己紹介をしていくうちに次第に打ち解けることで、翌日の業務ではもはや親友のような距離間で接してくれました。サマースクールが終了し、1週間経った今でもインターネットを通じて連絡してくれるサマスク生の友達もいますし、チューターも含め、サマースクールを通じて出会った仲間との思い出は本当にかげがえのないものになりました。また単に楽しいだけではなく、日々の生活中で、私の英語の課題をアメリカのサマスク生に添削してもらったり、それぞれの母国の文化の違いなどを話し合ったりすることで知らない知識を培うことができる素晴らしい機会にもなりました。反省点としては個人的な都合により宿舎に滞在できる時間が少なく、サマスク生と交流した時間が他のチューターより少なかったことが心残りです。

良かった点は、タイ、アメリカ、韓国の3つの国の人と生活を共にし各国の国民性、文化などを学びともに教えあうことに喜びを感じられたことだ。また、彼らの日本の文化への着眼点は我々日本人にはないものを感じ勉強になった。語学においても英語、韓国語、タイ語も学び日本語との違いや特徴についても学べたのでよかった。生活面では、サポートしきれない部分もあったが、人の世話をする難しさ、自分の生活リズムをコントロールする術を学べたのでとても良い経験となった。悪い面としては、生活面でサポートしきれなかった部分(週末などの遊びに行く計画など)もあるのでそこを改善していきたい。

まずはサマスク生全員が安全に、楽しかったと言って帰れたことが良かったし、安心しました。また、サマスク生と時間を一緒に過ごしていく中で、タイ、韓国、アメリカの文化や社会について知ることができ、私の海外に対する関心がさらに高まりました。

私は、今年2回目のチューターをやりました。去年初めてやってみて、外国人と一緒に暮らし、驚いたことが多く、また一緒にやっていた先輩方がとても優しく、今年もやりたいと思いました。今年は去年より人数が少なく、小規模でしたが、逆に全員でごはんを作って食べたり、イベントがあるときは全員で参加したりと、全員でやることが多く、仲良くなれたと思います。また、1ヶ月しかなかったのですが、密度の濃い時間を過ごせたと思います。今回のサマスク生は、自転車に乗らない子が多かったので、初めの方の土日はもっとイベントをすればよかったと反省しています。名古屋など遠出ももう少ししてあげればよかったと思います。去年も今年もサマスク期間はとても忙しいですが、それ以上にとても楽しいと感じます。来年も是非やりたいです。

今回のサマースクールは、去年のこともあり、例年よりもチューターが気を引き締めながら取り組むことができた。気を引き締めながらも、サマスク生たちに楽しんでもらいたい、また自分たち自身も楽しもうという気持ちを抱きながら業務を遂行していたように思う。サマスク生たちと、日本語で話したり、ときには英語で話したり、またともに出かけたりすることによって、本当に仲が深まった。1か月という期間は、丁度みんなの仲が良くなったころだったため、例年以上に別れが悲しかった。今回のサマスク生は女性が大半だったため、サマースクール全体の雰囲気も落ち着いていた。ゆえに問題も起こらず、ほどよい盛り上がりのサマースクールだった。

当たり前のことだが、サマースクールは人数が多ければ多いほど大変だと感じた。今回のサマースクールは期間と人数がマッチしていたように思う。この人数だったからこそ、サマスク生ひとりひとりとたくさんの時間を共有できたり、またお互いに深く知れたように思う。再び去年と比較してしまうが、去年は人数が多かったため、互いに浅い関係でサマースクールが終わったように思う(私だけが感じていることかもしれない)。去年のサマースクールは、ひとりひとりと浅い関係だったがゆえに失敗が多かったのでは?と、今回のサマースクールを終えて改めて感じた。

今回のサマースクールが無事に終わって安心していきます。また、今回のサマースクールにチューターとして携わることができて本当によかったです。1か月間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。岐阜大学サマースクールは長年の歴史をもっているため、来年も岐阜大学のサマースクールが開催されることを心の底から願っています。

サマースクール参加学生の感想文

Messages from Summer School Students

サマースクールでたくさん友だちを作りました。新しい友だちはいろいろ教えてくれました。ありがとうございます。サマースクールが終わったら、また日本に戻りたいです。日本で英語を教えて、日本人の友だちに会いたいです。

日本はたくさんきれいな自然があります。郡上の川がいちばんきれい!チューターさんと日本人の友だちと留学生は新しい友だちになりました。いちばんやさしい人たちです。みんなありがとうございます。

いちばん楽しかったのは、ホームステイです。ホームステイファミリーが親切でした。日本の文化を見せてくれました。いろいろな美術館につれていってくれました。お母さんといっしょに温泉に行きました。家族のパーティーでさしみを食べました。高山で買い物をしました。おばあさんに箸をもらいました。家でお父さんといっしょに英語の本を読みました。私とお父さんの誕生日が近いから、誕生日のケーキを食べました。

サマースクールはとても楽しかったです。前日本に来た時、日本語で話すのが恐かったです。でも今は恐くないです。サマースクールで知識を習ったから、来年日本に戻りたいです。また友だちに会いたいです。

サマースクールはいい経験でした。たくさん印象に残りました。チューターはとてもやさしかったです。サマースクールの授業はときどき難しかったです。日本語のクラスは役に立ちました。

郡上踊りがいちばん楽しかったです。郡上踊りで私は初めて日本の踊りを踊りました。とてもエキサイティングでした。大勢でした。音楽はとても良かったです。踊りがちょっと難しかったです。とてもおもしろかったです。

岐阜大学のサマースクールでいろんなことをしました。土岐へ行って陶芸をしました。また、浴衣を着て踊ったり、ホームステイをしたりしました。その中で、一番思い出に残ったことは郡上八幡でサマースクールの学生たちといっしょに浴衣を着て撮影したことです。浴衣がきれいだっただけでなく、そんな経験は最初だったので、本当に楽しかったです。そして郡上踊りに参加して踊りながら、日本の郡上八幡だけの固有文化を経験してとてもよかったと思います。サマースクールは期待以上だったです。私が思っていたよりずっとすばらしかったです。多様で珍しいプログラムがありました。韓国でできないことがたくさんできてうれしかったです。最初は1ヶ月を長いと感じていましたが、今は早く感じています。絶対忘れられない思い出です。私の後輩たちに岐阜大学のサマースクールを推薦してあげたいと思っています。

サマースクールでみんなと会えたことが一番うれしかったです。私は日本に来てから友だちができるかどうか心配でしたが、今はそんなことはありません。私が日本で会った人はみんないい人でチューターも先生もほかの学生もホストファミリーもやさしい人です。いろいろなことを一緒にしたり、いろいろな場所へ行ったり、おいしい物を食べたり、いろいろなことが勉強できました。

サマースクールについていろいろな気持ちがあります。楽しかったり、つまらなかったり、人と出会えた時は嬉しくて、別れる時は悲しくても全部いい思い出になりました。できればこのプログラムにもう一度参加したいです。

日本人さえ相撲を見る機会があまりないというのに、外国人の私が見ることができた事実がすごくありがたかったです。競技場に入って試合を待ちながら観客の熱気を感じました。試合が始まってひとり、ふたり力士が出て試合を始めました。試合は短い瞬間でしたが、その瞬間選手たちの熱気を感じることができました。勝負の世界は厳しいですが、そのときだけはみんなが勝者だと思いました。

サマースクールのプログラムのスケジュールがよかったのでたくさんの経験をすると思いを作ることができました。その経験を土台にもっと成長することができました。

郡上プログラムは私の一番印象に残ったことです。それは、たくさんいい思い出を作れたからです。いいホストファミリーに出会って、やりたかったことができて、文化を勉強できて、きっとこのようなことは忘れられません。まだしたいことがありましたが、時間が足りませんでした。そう考えるとちょっと寂しくなります。でも、この1ヶ月にいろいろ経験できて、新しい友だちに会えて、とても嬉しかったです。「できれば、また来ます」。これがこの作文でいちばん書きたいことです。

このサマースクールはとても楽しかったです。それはチューターさんたちのおかげです。いろんな所に連れて行ってきて、いろんなパーティーをしてくれて、大変な時もいつも助けてくれて、感謝しています。また、先生たちからいっぱい勉強を教えてくださいました。それに、他の国の人たちと友だちになって、お互いの国のことを交換して、いい経験になりました。

岐阜大学のサマースクールは私の人生で忘れられない記憶です。郡上プログラム、ホームステイ、能・狂言、相撲を体験しました。日本の文化をもっと知りたくなりました。

私が一番面白かったのは、郡上の小学校のプログラムです。小学生と一緒に給食を食べて、講堂で私たちのために歌を歌ってもらいました。私は歌のプレゼントは初めてでした。それで、短い時間でも本当に感動しました。小学生の歌はずっと印象に残っています。サマースクールを通じて私は日本に留学したくなりました。韓国に帰ったら後輩と友だちに岐阜のサマースクールを紹介しようと思います。本当におもしろいプログラムだからです。サマースクールのプログラムは全部いい思い出でした。



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

2016年10月発行